委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	平成２２年度　第３回　安全対策委員会
開催日時	平成２２年８月４日（水）１４：００～１６：３０
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ　会議室
出 席 者	委員１５人　担当副会長１人　　事務局２人

協　議　内　容

開会に当たり、田中副会長から挨拶があり、鵜野委員長が議長となって議題に入った。

１　議　題

（１）ドライバーコンテストについて

①全国大会推薦について

トレーラ　　松　本　英　治　（日通滋賀運輸㈱）

大　　型　　今　村　崇　之　（センコー㈱京滋主管支店）

中　　型　　中　野　幸　夫　（日本通運㈱大津支店）

以上の通り決定。

②反省、意見等

○ドライバーコンテスト

・**実科の人員が不足している。支部の応援を増やす等の方法が必要。（車両１台に３人）**
・**ゼッケンの回収場所で解答の回収も行う予定だったが、今回人員不足で受付テントで行っていた。受付テントではバタバタして難しい。**
・**実科説明は３０分で良かったと思う。**
・時間の遅れがあった。
・**実科試験で車の操作をしてもらったディーラーの方に差があった。**
・参加会社数が少ない。（委員会社、理事会社）
・ドライバーだけでなく会社の管理者、トップの応援等来てもらい盛り上げて欲しい。
・実科試験終了後、帰らずこれから試験を受ける者と話している者がいた。
・受付のテントに責任者が残れる体制を作る。
・中型車（試験車両）の配置が続いて置くことになってしまった（中型の横が中型）ので、間にサービスカーを入れた。
・後２分の声が聞こえにくかった。
・実科試験が始まる前の準備確認を声では無く旗を使うようにしてはどうか？
・画板の数が少なかった。

○研修会

・当日無断欠席者が多い。各支部で欠席会社に連絡する。
・研修の内容をもっとコンテスト出場用にしてはどうか。

以上の意見等を踏まえ次回のドライバーコンテストの内容検討に活かす

（２）事故防止総決起大会について

資料について事務局から説明。
○次第（案）について
・一部二部分けはしない。
・開始時間を９時、終了時間を１１時３０分とする。
・休憩時間は取らない。
・講師の持ち時間を３０分程度でお願いしてみる。
・おりづる会の寄付については例年通り支部にお願いする。
以上の他は次第（案）の通り決定。

○締め切り
９月９日（木）

○各支部動員目標
大津４０・湖南８０・甲賀７０・湖東７０・彦根４０・湖北５０・湖西１５
以上の通り（表彰者を除く）

○その他
・青年協議会には募金協力（いのちのミュージアム）及び芋の販売（おりづる会）をしてもらう。又バス協会のバスの展示等についても行ってもらう。実施場所等については委員長、事務局に一任する。
・来賓及び後援は例年どおりお願いする。
・いのちのミュージアムにメッセンジャーの展示について数等を確認する。

（３）アルコール検知器助成制度について
別紙について事務局から説明。
委員長から全員に意見を求められた結果。意見として、全会員に配布する方向で考える方が良いという意見が多数であった。

（４）その他
①「安全運転宣言車」ステッカーの必要枚数の連絡について（お願い）
事務局から別紙について説明報告を行った。

＊ 次回委員会
日　時　平成２２年９月７日（火）１４時００分～
場　所　滋賀県トラック総合会館３階　研修室１